

1 目的

「第2期高槻市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が計画期間を満了するため、国から示された最新の将来人口推計や国が策定した「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を踏まえ、「第3期高槻市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定する。

2 策定にあたって

① 高槻市人口ビジョン

今回推計(令和5年推計)と前回推計(平成30年推計)の比較

- ・2050年時点の推計人口 273,570人【前回】 ⇒ 300,685人【今回】
- ・人口減少率(令和2年→令和32年) -20.9%【前回】 ⇒ -14.7%【今回】

② 第2期高槻市まち・ひと・しごと創生総合戦略

数値目標の達成状況

数値目標	第2期策定時	第2期目標値	実績値	達成状況
社会増減数	-201人 (平成27～令和元年の平均)	プラスに転じる (令和2～6年の平均)	203人 (令和元～令和5年の平均)	◎
合計特殊出生率	1.35 (令和元年)	1.56 (令和6年)	1.33 (令和4年)	×
健康寿命の延伸	【平均寿命】 男性82.4年 女性88.0年 (平成29年) 【健康寿命】 男性81.2年 女性85.3年 (平成29年)	平均寿命の増加分を上回る 健康寿命の増加 ※「第3次・健康たかつき21」 (終期:令和5年度)で 定める目標値。	【平均寿命】 男性82.7年 女性88.8年 (令和3年) 【健康寿命】 男性81.3年 女性85.8年 (令和3年)	○

◎(目標を達成している)、○(目標値に至っていないが、策定時値より改善している)、×(目標値に至っておらず、策定時値より改善していない)

③ デジタル田園都市国家構想総合戦略(令和4(2022)年12月策定)

国において、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、デジタルの力を活用しつつ、地域の個性を生かしながら地方の社会課題解決や魅力向上の取組を加速化、深化を目的とする。

3 第3期高槻市総合戦略の考え方

① 基本方針

『安全安心で定住魅力があり、子育て・教育の環境が整ったまち』に向け、誰もが便利で快適に暮らせる社会の実現に向け地方創生の取組を進めるとともに、デジタルの力を活用し、取組の更なる充実を図る。

② 数値目標・基本目標

数値目標…「社会増減数」「合計特殊出生率」「健康寿命の延伸」について目標を再設定

数値目標	現状値	目標値
社会増減数	203人 (令和元年～令和5年の平均)	社会増を維持 (令和5年～令和9年の平均)
合計特殊出生率	1.33(令和4年)	1.63(令和9年)
健康寿命の延伸	【平均寿命】 男性82.7年 女性88.8年 (令和3年) 【健康寿命】 男性81.3年 女性85.8年 (令和3年)	平均寿命の増加分を上回る 健康寿命の増加

※合計特殊出生率は、国の「少子化対策大綱」が示す「令和12年の国民希望出生率1.8」から算出

基本目標…基本方針に基づく施策の推進を図るため、基本目標を設定し、進捗状況を検証するため、各基本目標にKPI(重要業績評価指標)を設定する。

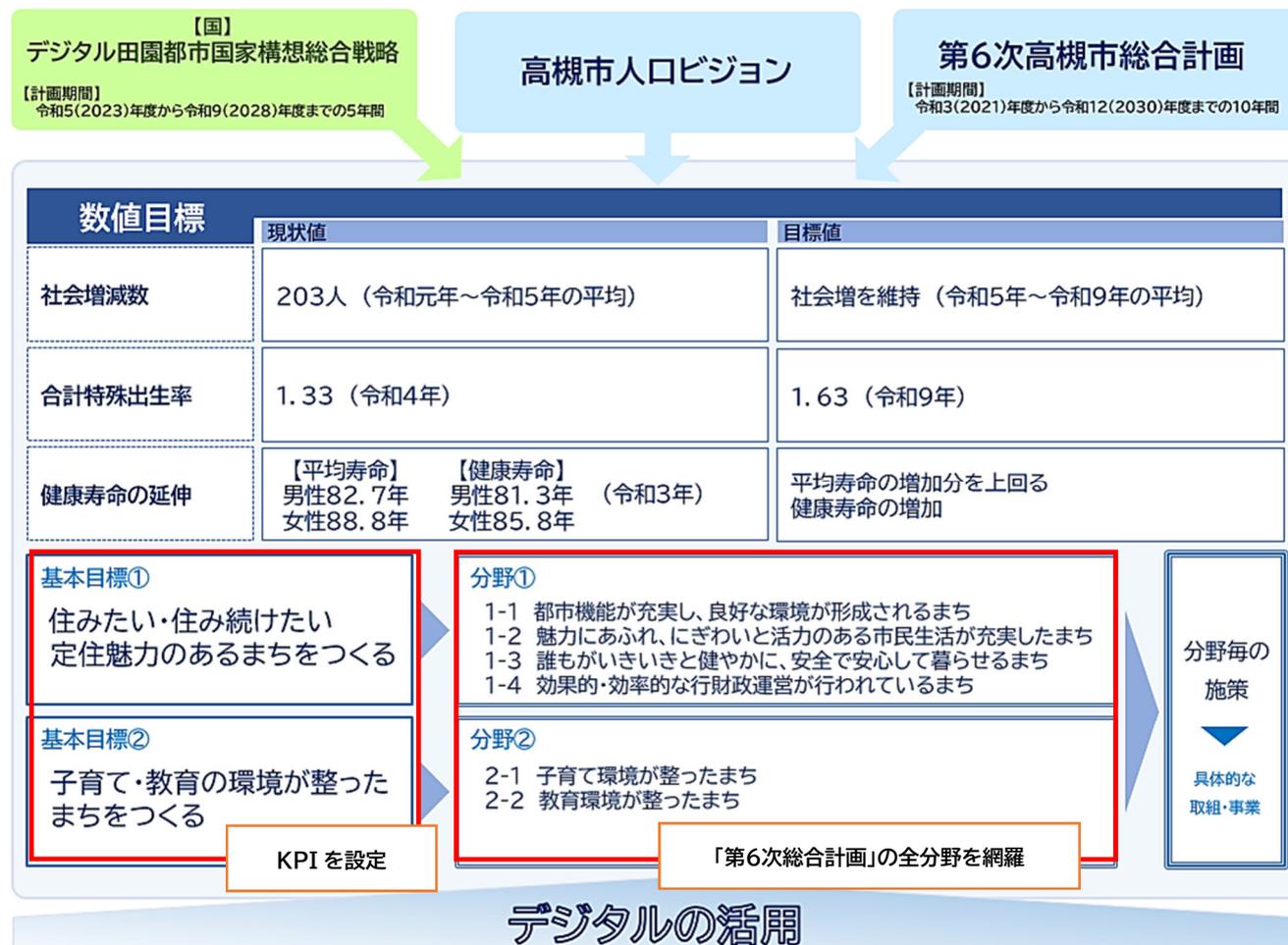
基本目標①	住みたい・住み続けたい定住魅力のあるまちをつくる
KPI	「本市を居住地として評価し、今後も住み続けたいと思う市民の割合」
基本目標②	子育て・教育の環境が整ったまちをつくる
KPI	「子育て・教育環境が整っていると思う市民の割合」

③ 計画期間

令和7年度～令和9年度(3年間)

－国の総合戦略に終了年度を合わせて、令和9年度までの計画とする。

■ 第3期高槻市総合戦略の考え方(イメージ)



※ 具体的な取組・事業については、令和6年度の実績を踏まえ、「第3期総合戦略」の開始年度である令和7年度時点の評価指標等を再設定。

4 今後のスケジュール

- 10月25日 第2回まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会
- 12月中旬～ パブリックコメント
- 令和7年2月 策定
- 令和7年3月 公表